

令和2年度 学び舎ひまわり 第3講 開催報告

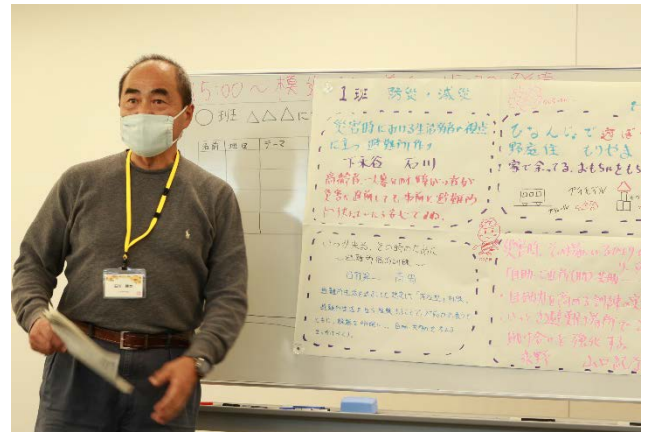
日時:令和2年11月14日(土) 13時30分 ~ 16時30分
会場:区役所6階 603号 会議室
受講生:18名(地域13名、区役所5名)

自分の地域で実現させたい計画「マイプラン」。興味のあること、今地域で起きていること、そしてこれまでの講義をふまえて作ったプランを受講生同士でブラッシュアップし、思いのこもった計画を作りました。日頃の活動についても情報交換が進み、大変有意義な時間となりました。

プログラム内容

1 グループ

地区	氏名	マイプランタイトル
永野	山口 紀予子	災害時その場にいる一人ひとりがリーダーに！ 「自助・ご近所(助)共助、公助」
下永谷	石川 勝也	災害時における生活弱者の視点に立つ避難所作り
日野第一地区担当職員	高岡 昭人	いつか来る、その時のために～避難所宿泊訓練～
野庭住宅地区担当職員	森山 裕正	避難所で遊ぼう



【発表者のコメント】

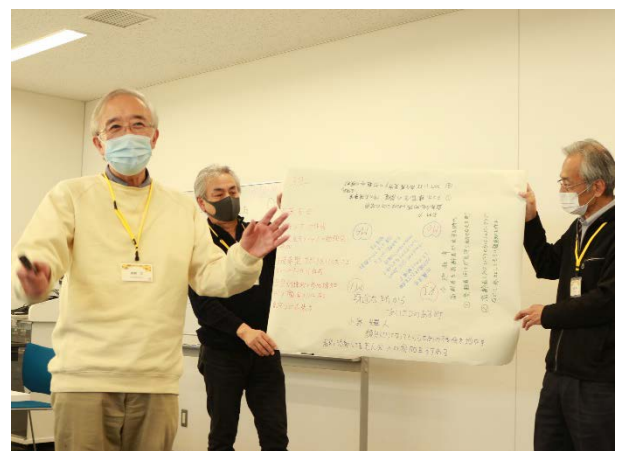
根底に様々な活動をとおして知り合いを増やして、災害に備えてそれぞれの人たちがつながれる地域を作ることが大切かな、と思いました。何かやろうと思ってそれぞれが動くことも大切だと思いました。

【講師コメント】

自分の身にふりかかるということを考えると自助・共助よりも近助が大切、と言われ始めています。要援護者の方とは、日常の顔つきながりがあるかどうか大切。名簿があっても顔が分からなかったら、災害時に助けることができない。また、名簿がないから助けられない、というのもダメ。日頃のつながりが勝負になってきます。子どもたちはゲーム感覚で楽しく学び、体験するという実践的な訓練が必要となるので創意工夫を！

2グループ

地区	氏名	マイプランタイトル
日野第一	小泉 輝人	身近なところから 挨拶のあるまちづくり
野庭団地	今野 雅幸	高齢者が高齢者を見守る時代
芹が谷	遠藤 百合	見守りマップ作成
日野南	西村 力	超高齢化地域における ICT の活用
日野南地区担当職員	加藤 未歩	コロナ禍でも ICT を活用してイベント開催！



【発表者のコメント】

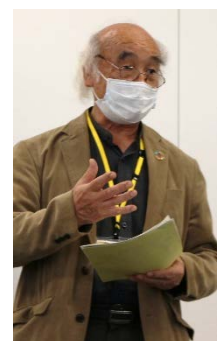
いろいろな方法で見守りをする事ができる、という話をしました。例えば、身近なところから挨拶を始めたり、ICTを使ったコミュニケーション方法としてスマートフォンを使ったりなどがあります。挨拶をすれば顔見知りになり、顔見知りから見守りにつながります。

スマートフォンの使い方が分からない高齢の方もいるので、講習会の実施ができるかもしれません。

【講師コメント】

従来は、民生委員、保健活動推進員、友愛推進員の三者が見守りをやっていたらいいという風潮があったが限界がきており、現在は地域で支えるという状況になってきています。

家具転倒防止器具の点検での見守り、防災グッズの配布・交換で定期的な見守りなど小さな活動を入れ替わり立ち替わり行う、ということが網の目のように広がっていくといいですね。大きな仕組みではなく、小さな仕組みをどう組み合わせるか、という転換が大切。



3グループ

地区	氏名	マイプランタイトル
大久保最戸	染谷 清	憩いの場、最戸一丁目公園
日野	山口 哲正	みんなであそぼう
港南台	山田 浩二	楽しく遊んで仲間を作ろう
ひぎり	宮島 由美子	地域対抗スポーツ大会と地方色豊かな物産展
日野地区担当職員	大島 知行	私のまちの隠れた魅力探し 顔見知りを作るためのきっかけづくり



【発表者のコメント】

地域の魅力づくりとしてできることはたくさんありそうです。

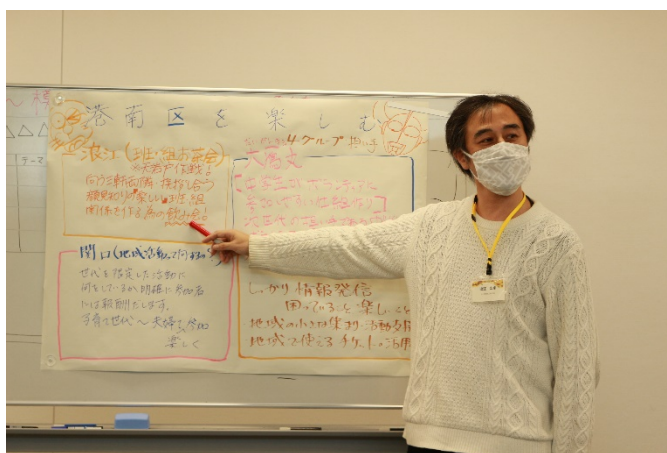
見所マップの作成、公園を活用したイベントの実施、ボッチャ大会の開催などなど。見所マップを作る時に、危険箇所等も確認することができれば、見守りにもつながるのでは！という話も出ました。

【講師コメント】

地域の魅力を全て知っている人はいないので、発信する場がないと町の良さに気づくことができません。そのため、見える化でのマップ作りは有効的。町の魅力を認識するためのプロセスが大切。まち歩きなどでみんながつながることができます。昔遊びを子ども達に伝えることは大切です。参加しようと思える活動は何か。誰をターゲットにして活動するのか。興味関心は一人ひとり違うので、色々な人が参加できることがあるといいですね。

4 グループ

地区	氏名	マイプラントイトル
上大岡	浪江 宏宗	班・組お茶会 ※天岩戸作戦！
笹下	大鷹丸 勇人	中学生がボランティアに参加しやすい仕組み作り
日下	関口 道秀	地域活動って何するの？
笹下地区担当職員	大迫 弘美	地域活動の支え手を増やそう



【発表者のコメント】

「楽しまないと始まらない！」

これが活動のベースになるね、という話が出ました。特定の人だけでなく、子育て世代やミドル夫婦、中学生など幅広い世代が参加できるようになるといいと思います。

参加の動機として、例えば地域で使えるチケットの発行など楽しい仕組みがあるといいかもしれません。

楽しんで活動する！楽しくないと続かない！

【講師コメント】

地域の中で何でもやってくれるスーパーマンではなく、興味関心があるところと一緒に活動しているくれる人がたくさんいるといいですね。興味関心があれば協力してもらいやすいので、新しい提案ができるといいですね。

興味関心のある人に手上げで集まってもらい参加してもらおう、ということの方が長い目で見た時にいいと思います



学びのまとめ 集計結果

回答数 15件 / 回収率 83%

満足	やや満足	やや不満	不満
11件	4件	0件	0件
73%	27%	0%	0%

【受講生の主な意見】

- 他地区の人とのディスカッションがよかった。参加者と話す時間が多くて満足度が高い。
- テーマは複数あっても、根底は同じだと強く感じた。いい勉強になった。
- 顔見知りになるアイデアを聞くことができた。今後取り入れたい。
- 各こだわりを持った人が参加できる仕組みづくりについて考えさせられた。
- 高齢者が増加する中でのコミュニケーション作りが課題と感じた。
- (コロナ禍で仕方がないが) あと一回で終了は短い。残念。
- 「マイプランを作る」位置づけが明確に伝えられてからの作業になるとよい。